

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月10日 (2008.4.10)

【公表番号】特表2007-524709(P2007-524709A)

【公表日】平成19年8月30日 (2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2007-033

【出願番号】特願2007-500294(P2007-500294)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/53 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

A 6 1 K 36/00 (2006.01)

A 6 1 K 36/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 Q

A 6 1 P 31/14

A 6 1 K 35/78 X

A 6 1 K 35/78 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月20日 (2008.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

Scutellaria baicalensis、S. amoena、S. barbata、S. discolor、S. hypericifolia、S. inbica、S. likiangensis、S. orthocalyx、S. rehderiana、S. scssilifloraおよびS. viscidulaからなる群より選択されるスクテラリア属の種から得られる単一の生薬原薬（B D S）または 1 種以上の植物性成分を含む、S A R S－C o V 感染症患者の治療用医薬。

【請求項 2】

スクテラリア属種の全抽出物である、請求項 1 記載の医薬。

【請求項 3】

1 種以上の賦形剤をさらに含む、請求項 1 または 2 記載の医薬。

【請求項 4】

前記生薬原薬が標準化抽出物である、請求項 1～3 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 5】

前記スクテラリア属種由来の生薬原薬が、バイカリンおよび／またはバイカレインのマーカーに対して標準化されたものである、請求項 4 記載の医薬。

【請求項 6】

前記標準化抽出物がエタノール抽出物を乾燥させたものである、請求項 4 または 5 記載の医薬。

【請求項 7】

前記標準化抽出物が凍結乾燥抽出物である、請求項 4～6 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 8】

植物薬である、請求項 1～7 のいずれか一項に記載の医薬。

【請求項 9】

前記植物葉がサッシェに包装されている、請求項 8 記載の医薬。

【請求項 10】

前記植物葉が投薬容器と共に包装されている、請求項 9 記載の医薬。

【請求項 11】

前記投薬容器が密封可能な蓋を有する、請求項 10 記載の医薬。

【請求項 12】

前記賦形剤が、粒子の 100 重量%が 60 メッシュ篩を通過し、粒子の 95 重量%が 80 メッシュ篩を通過し、粒子の 70 重量%が 200 メッシュ篩を通過するような粒度分布を有する少なくとも 1 種のキサンタンガムを含む 1 種以上のゲル化剤または増粘剤と、1 種以上の充填剤と、1 種以上の湿潤剤または界面活性剤とを含む、請求項 3 記載の医薬。

【請求項 13】

スクテラリア属の種から得た前記 1 種以上の植物性成分が植物フラボノイドまたはその合成等価物である、請求項 1 記載の医薬。

【請求項 14】

前記植物フラボノイドが、バイカレイン、バイカリンおよびオウゴンからなる群より選択されるものである、請求項 13 記載の医薬。

【請求項 15】

スクテラリア属の種から得られる植物性原料 (BRM)、生薬原薬 (BDS) または 1 種以上の植物性成分を含む、抗ウイルス医薬。

【請求項 16】

プラス鎖 RNA ウイルス感染症の患者を治療するためのものである、請求項 15 記載の抗ウイルス医薬。

【請求項 17】

SARS-CoV 感染症患者を治療するためのものである、請求項 15 または 16 記載の抗ウイルス医薬。

【請求項 18】

スクテラリア属種を含む懸濁剤投与医薬。

【請求項 19】

下記の属の種から得られる 1 種以上の植物性原料 (BRM)、1 種以上の生薬原薬 (BDS) または 1 種以上の植物性成分を含む、SARS-CoV を治療するための植物葉 (BD) または栄養補助食品：

- a) スクテラリア；
- b) ロニセラ；
- c) レンギョウ；または
- d) ヤマハッカ。

【請求項 20】

懸濁剤粉末混合物であって、生薬として

全植物性原料の総重量に対して 30～70% の量 (重量基準) のレンギョウ、

全植物性原料の総重量に対して 12.5～37.5% の量 (重量基準) のロニセラ、および

全植物性原料の総重量に対して 12.5～37.5% の量 (重量基準) のスクテラリアを含み、賦形剤として

粒子の 100 重量%が 60 メッシュ篩を通過し、粒子の 95 重量%が 80 メッシュ篩を通過し、粒子の 70 重量%が 200 メッシュ篩を通過するような粒度分布を有する少なくとも 1 種のキサンタンガムを含む 1 種以上のゲル化剤または増粘剤と、1 種以上の充填剤と、1 種以上の湿潤剤または界面活性剤を含む前記懸濁剤粉末混合物。

【請求項 21】

レンギョウ、ロニセラおよびスクテラリア属種の各々の標準化抽出物を含む、請求項 2

0 記載の懸濁剤粉末混合物。

【請求項 2 2】

レンギョウ属種が、フィリリンのマーカに対して標準化されたものであり、
スクテラリア属種が、バイカリンおよびバイカレインのいずれか一方または双方のマー
カーに対して標準化されたものであり、

ロニセラ属種が、クロロゲン酸および／またはカフェー酸のマーカに対して標準化さ
れたものである、請求項 2 1 記載の懸濁剤粉末混合物。

【請求項 2 3】

バイカリン、バイカレイン、クロロゲン酸、forsythiaside、カフェー酸およびフィリ
リンのうちの 1 種または複数種を含む S A R S - C o V の治療用医薬。

【請求項 2 4】

下記の属の種から得られる生薬原薬または植物性成分から本質的になる医薬：

- a) スクテラリア；
- b) ロニセラ；
- c) レンギョウ；および
- d) ヤマハッカ。

【請求項 2 5】

S A R S - C o V の治療用である、請求項 1 ～ 1 8 及び 2 4 のいずれか一項に記載の医
薬。